

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ロジクス座間小松原計画	階数	地上4F
建設地	座間市小松原二丁目5245-1,5245-8,5245-9	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	350人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2020年7月9日
敷地面積	21,868 m ²	作成者	(株)銭高組一級建築士事務所
建築面積	11,138 m ²	確認日	2020年7月9日
延床面積	44,236 m ²	確認者	(株)銭高組一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.9</p>			
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8</p>	
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7</p>			
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.6</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5</p>	

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>国道246号から約2km、座間大和線から約1kmに位置し、小田急江ノ島線南林間駅からバスで15分でアクセス可能な工業地域に、座間市開発等事業指導要綱に基づき、物流施設を計画した。</p>	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>該当なし。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>将来の用途変更などを考慮し、階高、空間の形状・自由度及び建物の積載荷重について、ゆとりのある設計とした。また、内装仕上材及び空調・給排水配管は、耐用年数の長い部材・部品を選択した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>0</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BPI_m=0.96 BEI_m=0.48 LED照明設備を導入</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水コマ及び自動水栓等に加えて節水型便器を採用し水資源保護対策とした。また仕上げ材に有害物質を含まない材料を使用し、環境負荷削減を図った。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂の排出量=74%とした。燃焼機器の不採用にて、大気汚染防止対策とした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される